



発行所  
 太平山頂上鎮座  
 太平山三吉神社総本宮  
 宮司 田村 泰 教  
 秋田市広面字赤沼3の2  
 電 話 (018) 834-3443  
 F A X (018) 835-6864  
<http://www.miyoshi.or.jp>



秋祭ご案内号

第28回太平山写生会 太平山三吉神社賞 (東小学校2年 大谷 紘希)

オリンピック・パラリンピック開催決定の報に喜びの声が溢れている。夏季五輪は招致の失敗が続き、もう日本での開催は困難かという思いもあっただけに感慨もひとしおだ。伝え聞く本番の迫力や臨場感を是非生で楽しみたいものだ。▽昭和三十九年の東京オリンピックは、日本選手団の大活躍に国中が湧き上がるとともに、戦後の日本復興を世界に深く印象付け、多くの日本人に希望や誇りを与えたという。自国開催の意義はスポーツや経済分野の枠に留まらない。▽原発処理や防災対策など開催までの課題は多い。しかし、来る東京五輪が東日本大震災から立ち直った日本を象徴する大会となり、海外からの観光客が被災地を訪れる良い契機となれば一筋の光明ともなる。▽そして多くの国民、特に将来への不安を抱えどこか頼りない青少年達に、夢や自信をもたらす大会となれば、批判もある多額の経費は、未来に対する有形無形の非常に有意義な投資となることに違いない。

宮司 田村 泰 教

言挙げ 47

# 秋田に縁の剣術

権称宜 原 田 憲 幸



日本には世に兵法三大源流と呼ばれる剣術がある。「神道流」、「念流」、「陰流」の三つである。この内の一つ陰流は秋田にも縁のあった流派である。

陰流は、戦国時代に伊勢の豪族、愛洲移香斎久忠(三好日向守とも)によって創始された剣術流派で、その道統を継いだ子の小七郎宗通(美作守、後に元香斎)は、当時常陸国を支配していた佐竹義重に仕えて以降、代々佐竹氏に使い、秋田移封にも従った。

常州那珂郡平沢村を拝領したことから後に平沢姓を名乗りその子孫は今に続いている。

この移香斎達について詳しい資料はさほど残されていないように、一番の資料と言われるのは八代の子孫、平澤通有が父の代までを書いた『平澤家傳記』が詳しいようだ。秋田の公文書

館にあるという噂を聞き、探してみたもののそれらしき資料は見つけられなかった。どうやら戦時中に紛失してしまったということらしい。その代わり、秋田県出身の武術史研究者、青柳武明氏が戦前に平澤家を訪ねて調査し、発表した陰流に関する論文をみつけることができた。

それによれば、愛洲移香斎は村上源氏北畠氏の末裔であるという。享徳元年(一四五二)生、天文七年(一五三八)没とあるから、当時としてはかなりの長命だった様だ。移香斎は廻国修行の末、日向国鶴戸の洞窟に籠って兵法開眼を祈願し、蜘蛛の化身となった老翁より剣の秘伝を授けられ、陰流を創始したという。

小七郎宗通は永正十六年(二五二九)生。移香斎は六十を過ぎたかなり晩年の子である。佐竹氏に仕えたのは四十五歳の頃であって、前半生は兵法研鑽に没頭したと推察されている。天正三年(一五七五)真弓山にて兵法成就を祈願したところ、前勝坊という異人が現れ、猿を

相手に剣法の秘伝を授けられた。これにより「猿飛陰流」と称したという。以後、子孫に継承されたが、現在は失伝してしまっただけに、残念である。

一説には、移香斎は明国に赴き剣術を指南したという話がある。愛洲氏は海運に携わっていた一族で、移香斎も明に渡航した事は記録上確認出来る様だ。明代の『武備誌』という書物には陰流の目録が記載されている。正し、その中では倭寇との戦いで入手したとされている。真偽は分からないが、これが、剣術に関する唯一の資料かもしれない。

今、古文書類は、多くが寄贈先で未整理のまま眠っている事が少なくないと聞いている。特にこうした武術系は興味の対象とする人が限られている為、調べようとすると人は殆んどいない。もしかしたら、陰流系の秘伝書もどこかで眠っているかもしれないと、僅かながら期待している。

また、古流武術に関しても明治の廢刀令、昭和の敗戦の影響

などで、激減し、残った主な流派は古武術振興会などに加盟しているが、単独で活動している所もある。

中には眉唾の胡散臭い流派もある様だが、この先様々な武術が、人知れず消えていくかもしれないのは惜しい気がする。立場、主張はそれぞれあるだろうが、広く世に知れる事で人々の関心が高まれば真偽のほども明らかになり、正しい伝統を後世に残していけるのではないだろうか。

現存する全ての武術流派の概要を記録してまとめ、世に紹介出来たら、伝統文化の保存と継承の一端に繋がるのではと、浅学ながら感じているところである。



# 第28回太平山写生会

7月6日恒例の太平山写生会（主催：太平山写生会実行委員会）が行われ、多くの児童・生徒にご参加を頂きました。多数の応募の皆さまの中から以下の方々が入賞され、8月24日表彰式が行われました。



## 入賞者一覧 (順不同)

### 太平山三吉神社賞

佐藤 夏織	太平中学校 3年
角掛ののか	東中学校 2年
大谷 紘希	東小学校 2年

### イチノセキ賞

阿部 太智	太平中学校 3年
千葉 悠斗	旭川小学校 6年
後藤 優汰	上北手小学校 3年
高橋 明希	桜小学校 1年

### 秋田魁新報社賞

柿沼千津子	大人
工藤 菜央	太平中学校 3年
進藤 楠月	太平中学校 1年
佐藤 陽向	勝平小学校 1年

### 秋田銀行広面支店賞

鎌田杏里紗	太平中学校 1年
今野 遮那	日新小学校 5年
長谷川琉聖	下北手小学校 5年
佐藤 維南	広面小学校 4年

### 花のヤマト賞

鎌田 桃子	泉小学校 5年
田村 更紗	広面小学校 3年
三浦帆乃夏	手形山幼稚園年長
大谷 柚葉	東幼稚園年中

### 東日本電信電話(株)秋田支店賞

熊谷 浩一	大人
秋山 結子	太平中学校 2年
堀野 華	城東中学校 1年
津谷 栄人	東幼稚園年長

### 北都銀行広面支店賞

阿部 文哉	太平中学校 1年
岩野慎太郎	東小学校 6年
渡部 温子	広面小学校 6年
長谷川琉賀	下北手小学校 3年

### ぺんてる賞

鈴木 伶奈	太平中学校 3年
佐藤 杏樹	下新城小学校 3年
齋藤 芽吹	広面小学校 2年
佐藤 芙樹	あきたチャイルド保育園

### 秋田中央郵便局賞

工藤 果南	太平中学校 2年
田村 拓斗	広面小学校 5年
加藤 颯	広面小学校 3年
馬場浩太郎	桜小学校 3年

### 秋田信用金庫広面支店賞

杉山 真実	太平中学校 1年
三浦 悠人	広面小学校 6年
金谷 知恵	広面小学校 6年
鎌田 崇宏	太平小学校 4年

### (太平山三吉神社賞)



東中学校 2年 角掛ののか



太平中学校 3年 佐藤夏織

### マルシン賞

鈴木 裕野	太平中学校 2年
土橋 真人	旭川小学校 5年
今野 蓮華	日新小学校 3年
大山 瑠菜	桜小学校 3年



太平山山頂

大きな事故もなく賑わっ

六月初旬からの今年の太平山登山シーズンは、七月(特に週末)の長雨もありましたが、ご遠方からの崇敬登山や、家族や仲間連れ等多くの登山者で賑わいました。昨年に引き続き、本年も県外からの団体登山や山ガールをはじめとする若者のグループの姿が目立ちました。

また開山祭や神社主催の登ろう会(二回)・山ガール登山、更に今年初めてとなる子供登山会も行われ、霊峰の清浄な雰囲気をもくの方に味わって頂きました。

これから紅葉の時期を迎え、登山に適した時季を迎えますが、事故やケガのない、安全で楽しい登山をお楽しみ下さい。

※今年の太平山は十月六日(日)より無人(一部開放)となり、十一月初旬から明年五月までの冬季間は完全閉鎖となります。くれぐれもご注意下さい。  
(期間外に使用希望の方は里宮にご連絡下さい)



山ガール登山 (7/20・21)



第52回登ろう会 (7/27・28)



開山祭 (7/17)



こども登山 (8/10・11)



釧路若竹講社 (8/3・4)



第53回登ろう会 (9/7・8)

年末年始

巫女奉仕者募集

年末年始の巫女奉仕者を募集いたします。

(10月1日受付開始)

当社の顔として参詣者と接する巫女奉仕はとても重要なお務めであり、貴重な体験になるものと思います。

ご希望の方は、気軽にお問合わせ下さい。(係 和田)

○奉仕対象：高校生以上の方(女性)

○奉仕日：年末年始ご都合の良い日

※事前に提出頂く書類及び面接(11月)がございます。

※希望者多数の場合は、ご奉仕頂けない場合がございます。



# みよしスケッチ

## 夏越の大祓 (六月三十日)

半年間の罪穢れを祓い清める神事に多くのご参列を頂きました。



## 開山祭 (七月十七日)

神人奉仕により里宮より御神体を遷御申し上げました。



## 山ガール登山会 (七月二十二日)



## 講社祭 (八月八日)

各地の講中の皆様にご参列頂きました。



## 八日町竿灯会 (八月四日)

竿灯と梵天が大空に舞う妙技。



## 園児お茶会 (九月十日)

手形山幼稚園より四十八名の園児を招いてお茶会を行いました。



# 祝 七五三



(3才・5才)の男児及び(3才・7才)の女児の七五三参りを下記の期間とり行います。ご家族お揃いでお祝い下さい。

- 期 日 9月～12月中
- 時 間 朝8:30～夕方5:00 (ご予約不要)
- (期間・時間外にご希望の方は予めご連絡下さい)



# お伊勢さん 29

## 式年遷宮の神事⑤

伊勢神宮で行われる第六十二回式年遷宮（平成二十五年）に関する企画

・遷御（せんぎょ）（内宮）十月二日（外宮）十月五日  
ご神体を新殿へお遷しする祭儀。天皇陛下が斎行の日時をお定めになる最も重要な儀式。

・大御饌（おおみけ）（内宮）十月三日（外宮）十月六日  
遷御の翌日、新宮で初めて大御饌といわれる神饌をお供えするお祭り。

・奉幣（ほうへい）同右  
新宮の大御前に、天皇陛下から奉られる幣帛（へいはく）を勅使がお供えいたします。

・古物渡（こもつわたし）同右  
古殿に奉獻してあった御神宝類を新宮の西宝殿にお移しする儀式。

・御神楽御饌（みかぐらみけ）同右  
遷御の翌日の夕方、御神楽に先立ち大御饌をお供えする祭り。

・御神楽（みかぐら）同右  
新宮の四丈殿（よじょうでん）で勅使および祭主以下参列のもと、天皇陛下に差し遣わされた宮内庁楽師十二員により御神楽と秘曲（ひきょく）が奉奏されます。



遷宮で結ぶ人の輪心の輪  
第六十二回神宮式年遷宮



© 神宮司庁 奉幣



遷御

～新県立美術館で《秋田の行事》の説明を聞こう！～

# 第22回 歩こう会 のご案内

市内の社寺・博物館をまわり、健康増進を図る歩こう会を下記の通り開催いたします。是非、お仲間お誘い合わせの上ご参加下さい。

日 時 平成25年10月20日(日) 午前8時30分 出発  
午後12時30分 ゴール予定

申込締切 10月15日  
参加費 1,500円（保険、施設見学、記念写真代を含む）  
※詳細は係・原田までお問合せ下さい。



（総計約9.7km）（時間は目安）

## 第62回式年遷宮奉祝 伊勢神宮参宮旅行のご案内

伊勢神宮のご遷宮がいよいよ今秋に行われます。

当社では20年に1度の佳節を奉祝する参宮旅行を下記の通り開催いたします。

京都の社寺参拝をはじめ、京都御所見学など見どころ満載の旅行ですので、是非お誘い合わせの上ご参加下さい

- 旅行期間：平成26年 3月11日（火）～ 3月14日（金） 3泊4日
- 旅行代金：136,000円（秋田空港起点）
- 募集人数：80名（定員になり次第締め切ります）
- 申込方法：申込書ご記入の上、申込金5,000円を添えてお申込下さい。
- 締切日：平成25年 9月30日

日程	行程	宿泊施設	食事
1日目	秋田空港 ---- 羽田空港 ---- 品川駅 ---- 名古屋駅 ---- ⇒ 二見興玉神社(浜参宮) ⇒⇒⇒ 伊勢神宮外宮(御垣内参拝)・せんぐう館 ⇒⇒⇒ 神宮会館 (懇親会)	≪伊勢泊≫ 神宮会館	食事 夕
2日目	伊勢市内 ⇒⇒⇒ 内宮 (御垣内参拝・お神楽)・おかげ横丁 ⇒⇒⇒ 京都市内 (昼食) ⇒ 伏見稻荷大社 ⇒⇒⇒⇒ 御寺泉涌寺 ⇒⇒⇒⇒ ホテル (夕食各自)	≪京都泊≫ 平安の森京都 2日間	朝昼 (夜×)
3日目	京都市内 ⇒ 平安神宮 (正式参拝) ⇒ 世界遺産上賀茂神社 (正式参拝) ⇒ 京都市内 (昼食) ⇒ 銀閣寺 ⇒ 智積院 ⇒ 京都国立博物館見学 ⇒ ホテル (懇親会)		朝昼夕
4日目	京都市内 ⇒ 京都御所 ⇒ 広隆寺(国宝館) ⇒ 刺繍館(昼食) ⇒ 松尾大社 ⇒ サントリー山崎蒸留所 ⇒⇒⇒ 伊丹空港 ---- 羽田空港 ---- 秋田空港		朝昼

※交通事情等により行程が変更になる場合があります



上賀茂神社



御正殿(内宮)



京都御所



平安神宮



広隆寺 弥勒菩薩半跏像

秋季

# 例大祭

のご案内

恒例により、平成二十五年度秋季例大祭を左記の通り斎行いたします。

ご家族、お仲間同士お誘い合わせの上、多数ご参列下さいますようお願い申し上げます。

記

宵宮祭

十月十六日(水) 午後六時

例大祭

十月十七日(木) 午前十一時

(各日とも祭典後直会がございます。)

◎ご参列の方は、十月七日までに係(和田)までご連絡下さい。

《巫女舞》

(十六日) 秋田舞

(十七日) 浦安の舞

《清興》

講演

『人はなぜ山に登るのか』

斎藤寿胤先生



## 平成25年 下半期主な神事予定

9月17日(火)	午前11時	閉山祭	ご神体を奥宮より里宮へお戻しする重要な神事
10月1日(火)	午前11時	印章供養祭	感謝を込めて印鑑を供養するお祭
	午後1時	人形感謝祭	愛着ある人形に感謝を込めてお焚き上げする神事(人形は9月20日よりお預かり致します)
10月16日(水)	午後6時	秋季例大祭宵宮祭	一年の恵みとご加護に感謝する秋の例大祭
10月17日(木)	午前11時	秋季例大祭当日祭	県内外からの多くの参詣者で賑わいます
10月20日(日)	午前8時30分	歩こう会	詳細は6頁をご覧ください。
11月23日(土)	午前10時	新嘗祭	五穀の収穫に感謝する祭典
12月13日(金)	午前10時	煤払い式	境内建物のすすを払い、新年を清々しく迎えるための恒例行事
12月中旬		神符守札遷霊清祓式	新年に頒布するお札、お守りをお祓いいたします
12月31日(火)	午後2時	師走の大祓式	一年の罪、けがれを祓い清め、心新たに初春を迎えるための恒例神事

※毎月8日・17日は月次祭(午前10時)がございます。

※各祭典ともどなたでもご参列頂けます。お気軽にお問い合わせ下さい。



人形感謝祭(10/1)



秋季例大祭(10/17)



煤払い式(12/13)